



広島陵北ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB HIROSHIMA-RYOHOKU

The Weekly Report



奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために

クラブテーマ

こころゆたかなロータリアン

本年度会長方針

心ゆたかに奉仕しよう

国際ロータリー 2021-2022年度 テーマ
会長 シェカール・メータ

第1435回例会 2022年6月15日 No.1410号

会長時間



会長 山田和弘

偶然にも大連旅行で知り合った、立命館大学卒業の竹山伸彦君は、学生時代の夏休み2か月間、1年生の時より高野山(こうやさん)の龍泉院で行儀見習いの修行をしていたそうです。(※この話は竹山君の約47年前のお話です。)当時94歳のグリコ創業者の江崎利一氏の、高野山(こうやさん)龍泉院での身の回りの世話係に抜擢されて4年間担当されたそうです。当時今から47年前ですが、江崎利一氏を経営者・そして人間としての師として、ひと回り年下の松下幸之助氏が高野山(こうやさん)によく訪ねて来られたそうです。そのようなご縁

で、直接江崎利一氏や松下幸之助氏のお話を聞いたり、声を掛けられる機会がたくさんあったそうです。また高野山(こうやさん)の龍泉院では、毎年の恒例行事として、グリコの社員様によります3泊4日の泊まり込みのCM(コマ-シヤル)会議をされています。冬季のテレビCMで、どのCMにするか、選抜された参加者全員で話し合いにより決定する会議でした。(中略)

『江崎氏』(CM(コマ-シヤル)会議打ち上げの時のお話)おいしさや健康を理念としているグリコ社員の皆様が、まず健康であってください。体を鍛え、心を磨き、つつがなく穏やかに、お健(すこ)やかに、一人の日本人として、幸せな良い人生を送ってください。よい人間からしか良い商品は生まれません。これは因果応報の真理です。

最後に、「時には嫌なこともあるでしょう。でもそんな時には、現在自分は苦しんでいるが、それは即(すなわ)ち仏様に尊い修行や功德を積まして頂いている。今は試練の時だと、善意に考えて前向きに取り組んでください。」「人生は、重荷を背負って、長い坂道を歩いていくような苦労の連続です。日々の煩惱に迷(まよ)わされることなく、自分を信じて志(こころざし)高く、日の当たる尊い道を力強く歩いて行ってください。そんな生活を続けておられれば、ここにお集まりの皆様には、きっとこれからも末永く、暖かい御仏(みほとけ)のご加護があるでしょう。」と従業員の皆様におっしゃっておられました。江崎利一氏は若い頃、日露戦争で医療衛生兵として従軍された二〇三高地の体験で、亡くなられました方達の慰霊という事が、どうしても気になって仕方がなかったそうです。そして『戦前にご縁がございまして、この高野山(こうやさん)の龍泉院に毎年の夏の避暑も兼ねて来るようになりました。』とのことでした。ちょうどその頃、江崎利一氏は、いつも自分の会社の中になると、ご自分が窮屈な水槽の中の金魚みたいになっていて、視野も考えも狭くなり、自分の心にも余裕が無くなっている事に、愕然とされたそうです。

いつの間にか、ご自分のスケジュールも様々な予定でいっぱいになっていて、時間的な余裕も、自由な時間も無くなっていることに気が付いたそうです。ご自分の心の中の引き出しも、俗世間や会社の些末(さまつ)な事でギュウギュウ詰めで、荷物でいっぱいになっていたそうです。

「心の中が荷物でいっぱい、窮屈な状態になっていると気持ちに余裕が無くなって、自分の心の中に『風』は吹きません。心を空(から)にしているからこそ、『風』が吹くことが出来るのです。空(から)で余裕があるからこそ、頭の中に四方八方から、『風』が自由自在に吹いて来て、自分の頭の中を吹き抜けて行くことが出来るのです。(浩然の気)その『風』に乗って、たまには思いもよらないような「良い知恵」や「アイデア」やヒントや、商売の種(新しい技術を生み出す可能性を秘めた事象)等が運ばれて来るものなのです。」とのことでした。(妙智・妙案)

「いつもと変わらずに、毎日自分の会社に出社するのもいいですが、自分の会社の社内に閉じこもってばかりいましたら、心も窮屈になり、視野も近視眼的になりまして、自分の会社というものの本質が、客観的に見れなくなっている恐れもあります。時には外に出て、自分の会社や他の会社というものを比較しながら、少し離れた所から眺めていくのも良いものです」(ロータリーのありがたさ)

6月22日のプログラム

最終夜間例会

7月6日のプログラム

会長挨拶・理事役員挨拶

出席報告 (例会運営委員会)

6月15日出席者

会員総数	53名
出席会員	40名
欠席会員	13名
ご来賓	0名
ご来客	0名
ゲスト	0名

来客者紹介 (親睦家族委員会)

6月15日出席者

幹事報告（伊藤弘幸）

1.お知らせ

・2022-2023年度ガバナー公式訪問のご案内を配布しております。次年度も広島安佐RCと合同開催となり、例会変更をしての開催と

なります。クラブネクタイ（ブルー）、女性会員はスカーフを着用下さい。クラブ協議会・フォーラムには理事（委員長）・副委員長・入会3年未満の方を対象とさせていただきます。出欠は回覧にてお願いいたします。

・7月第2例会のご案内を配布しております。

・次週の例会は最終夜間例会に変更しておりますので、お間違いないようご注意ください。なお、懇親会の中で理事役員退任挨拶を予定しております。

会員卓話

ガバナー補佐の仕事とは？



古谷幸一会員

皆様、こんにちは！古谷 幸一です。本日は、我がクラブから次年度国際ロータリークラブ2710地区 グループ6 ガバナー補佐にどの様に推挙されたかを含めてお話をさせていただきます。本日は貴重な例会卓話時間を割いていただき感謝致します。

さて、最初に近年入会者の方々も多くいらっしゃいますので自己紹介をさせていただきます。1949年（昭和24年）、丑年生まれです。仕事は、自動車を始めとした各種金型製造・樹脂成形です。会社の創業は、1923年3月で来年には100年目を迎えます。現在、金型工場は、廿日市市宮内工業団地、成形工場は、山口県岩国市玖珂にまた、海外工場をタイ王国・チョンブリ県シラチャ市に展開しています。タイ工場は、2002年3月創業致しました。タイには創業以来、弟が変わらず赴任しています。コロナの影響で3年往来出来ていません。

1992年11月に大旗様・小林様の推薦を頂き入会致しました。ロータリーには、今年の11月に入会30年を迎える予定です。

入会の動機は、同年代で有ります小林様から昼飯は毎日食べるのだから場所を週一回決めて食べても良いでは、との申し出を受けたものです。お互いに広島青年会議所にも入会していましたが、但し、ロータリーに少なからず年齢的な抵抗は持っていましたがお受けしました。それから気が付けば30年が来ようとしています。今考えればあつと言う間の時間です。多くの方々との思い出が有り、出来ました。また、これまでの時間の中で副幹事・副会長そして会長職を恙無く勤めさせて頂きました。多くの皆様のご協力とご支援に改めて感謝申し上げます。

この30年の間にクラブに対してさして貢献や功績も無いままに過ごして参りましたが、機会があれば多少でもクラブに貢献出来ればと思って居ました。昨年の夏に開催されました歴代会長会の中で次年度は、ガバナー補佐を出す事になるとの話が出ました。誰を推薦するかとの話が有り多くの皆様のご指示を頂き私を推薦すると言うことが決定されました。過去にも大旗さん、小川さんと言う経験者が在籍されて居ますのでご協力を頂きながら職を遂行する事をお約束致しました。

さて、昨年10月に第1回のガバナー補佐会議が開催され次年度2022~2023年度がスタート致しました。

国際ロータリー第2710地区 ガバナー予定者は徳山ロータリークラブの石川良興様です。1942年生まれです。この地区のガバナー補佐は、72ロータリー・12グループに分かれています。東は福山地区、北は吉舎地区(東城)、西は下関地区(長門・萩)です。広島は、第6・第7グループに成り第7グループのガバナー補佐は、広島西ロータリークラブの香川様です。第6・第7 併せて14ロータリークラブが有ります。

本題のガバナー補佐の仕事とは何かを知る為にMY ROTARYにアクセスしてマイコースと学習プランを選びその中のガバナー補佐の基本を選び学習させて頂きました。マイロータリーへのアクセスをされると色々なページから各種の情報や学習プランが出て参ります。内容を少しご紹介致しますと次年度のテーマですが多様性・公平さ・インクルージョン、会員増強・財団支援などテーマ毎の説明や学習プランが出て参ります。是非この機会に皆さま、特に会長・幹事様や委員長様・理事の皆様にはご利用頂きご活用ください。この様な学習プランがロータリークラブの特徴だと思っております。多くの学習プランがあれば言い換えればどなたでもそれぞれの立場に立ち役目を遂行出来ると思っております。

今流行りの言葉を使わせて頂くとDX化の推進が既に取り込まれていると思っております。これは、ロータリークラブの活動が世界中に拡がり、拡げるために取られた方法だと思っております。私の仕事で申せばISOの認証の様な 世界で通用するシステムです。日本にもJIS 規格は存在していましたが、独自のシステムの為に汎用性が有りませんでした。話が少し逸れましたが、いつでも何処でも誰にも通用するシステムとしての学習プランが有ります。是非、ご活用ください。

最後になりますが、ガバナー補佐としてのお願いを皆様に少し申し上げさせていただきます。これは、昨年10月以降2回開催されましたガバナー補佐会議でガバナーから出ました要望です。次年度の石川ガバナーエレクトの推進策の一つにMy ROTARY への参加・登録が有ります。皆様の登録をお願い致しますが、対象は各ロータリークラブ会員全員です。登録推進の為に、是非委員会を計画して頂き委員長にはネットに詳しい会員を指名して下さいと申されています。来年開催予定のIMに於いて各クラブを巻き込んでガバナー方針の中から2つを選んでワークショップ開催を要望されています。更に、国際ロータリークラブからガバナー補佐への依頼では、

①会員増強目標として会員数50名以上は純増2名以上、会員数50名以下は純増1名。特に女性会員と未加入職業の勧誘です。

②新しいクラブの新設 Eクラブ、衛星クラブです。

③ロータリー財団支援として、

年次基金 150ドル／1名、

ポリオプラス基金 30ドル／1名

(3) 恒久基金 冠名基金 2.5万ドル1名以上／地区 ベネファクター1名／クラブ

又は1000ドル以上／クラブ、1万ドル以上の寄付100件／日本34地区

米山記念奨学生支援 16,000円以上／1人

(5) 米山学友会賛助会員入会 50%以上／クラブ

以上がガバナー補佐会議の最初に申し渡された内容です。言うまでもありませんが、国際ロータリーとガバナーと会員の皆様との間に立つ中間管理職の立場です。国際ロータリーとガバナーの意向を如何に実現するか、させるかです。但し、皆様がより良いクラブライフを送られるためのお手伝いをMY ROTARYをネットで検索しながら地区協議会の委員会の助言を参考に勧めて参ります。

どうぞ今後ともよろしくお願い致します。最後に私の好きな言葉を使わせて頂きます。『心無~~事~~礙』です。

会員卓話

ガバナー補佐幹事について



次年度グループ6 ガバナー補佐幹事を務めます村上です。宜しくお願いします。
「ガバナー補佐幹事について卓話を」と依頼を受けましたがまだスタートしていませんから特別に感想や反省などはありませんが今までに二度、次年度の石川ガバナーエレクトとお会いしました。昨年12月の第2回次年度ガバナー補佐会議に古谷次年度ガバナー補佐と同席いたしました。この時初めて石川ガバナーエレクトとお会いしまして、2回目は4月6日のグループ6ガバナーエレクトを囲む会でしたが不慣れなために議事録を付ける事を忘れておりましていきなり失敗し

た次第です。石川次年度ガバナーからは各クラブに4回は訪問してくださいと指示がありました。3月下旬に各クラブに就任のあいさつに訪れましたが、各クラブの対応が様々で興味深かったです。今後の訪問の参考にしたいと思いました。次年度はインターシティーミーティングの主幹事クラブとなります。昨年より石川実行委員長の下、準備してまいりましたがこれからは会員皆さんで力を合わせてIMを成功させましょう。ここ2年はIMも含めて殆ど大きな行事が中止となり、近年入会者の方は実感に乏しいと思いますが、他のクラブに胸をはれるIMにしましょう。次年度はガバナー補佐幹事、IM実行委員、通常のクラブ運営など多忙な一年になりそうですが、精一杯務めてまいりますので皆さん宜しくお願いします。これで終わります。ありがとうございました。



ニコニコBOX SMILE BOX

川中敬三会員

中国ゴルフ協会主催の中国グランドシニアゴルフ西地区予選会を通過し、10月にある中国ゴルフ協会の本戦に出ます。70歳以上の元気なゴルファーに負けないよう頑張ります。

國政秀一会員

5月29日ゴルフにて良いメンバーの中で3位入賞させて頂きました。これからも色々な事に参加させて頂きます。ありがとうございます。

竹内真一会員

先日の国際ロータリーゴルフ大会で7位入賞しました。呉ロータリーの方と一緒に回って楽しかったです。

前田啓太郎会員

中国新聞セレクトに掲載されました。そして、ちゅびコムケーブルテレビに11日～24日まで放送して頂きます。ありがとうございます。

当日計

49,000円

累計

870,000円